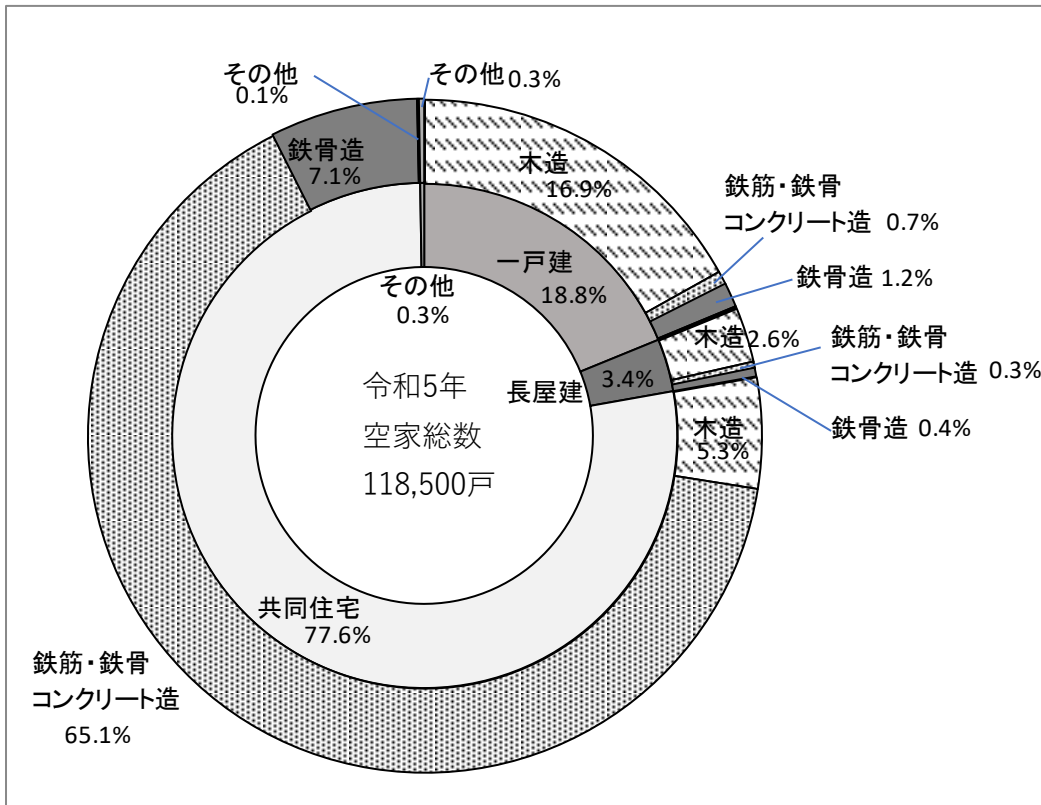


## 7. 空き家に関する重点分析

### (1) 空き家に関する基礎情報（住宅・土地統計調査）

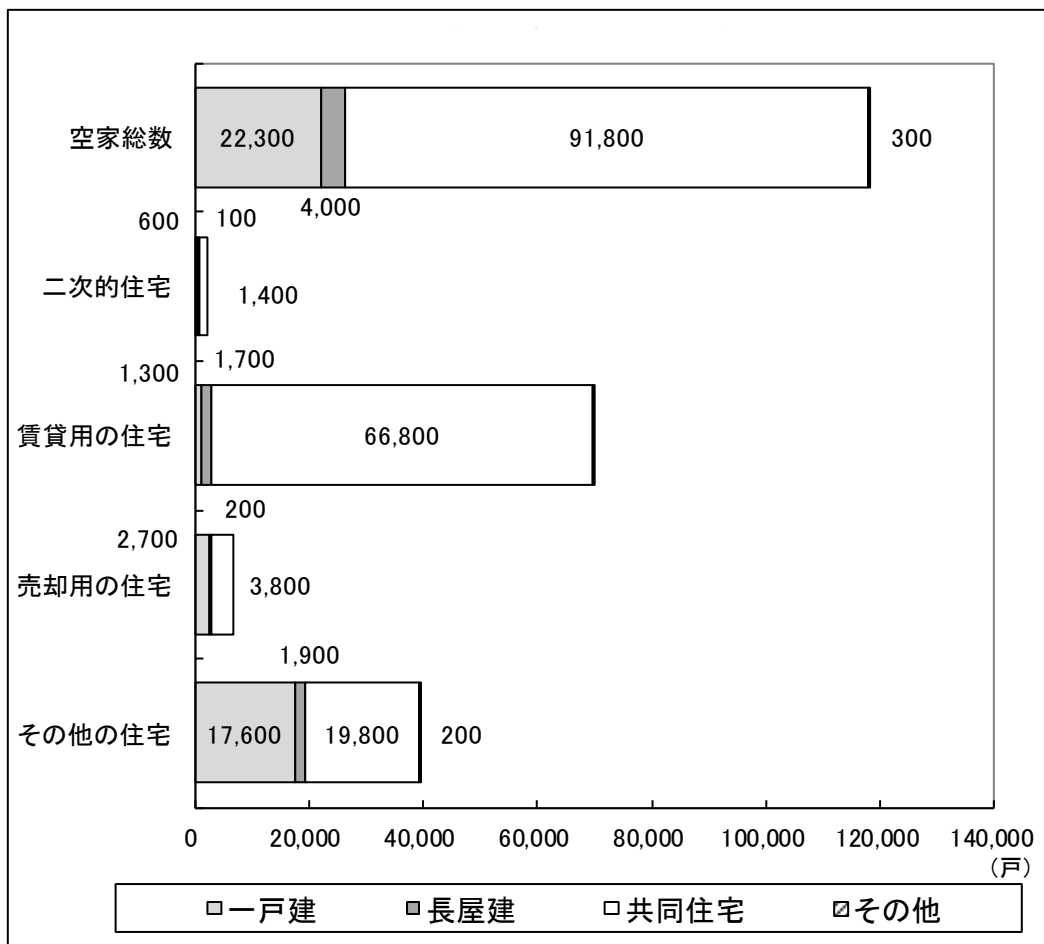
#### ① 建て方、構造

- ・ 空き家の建て方、構造については、共同住宅の割合が 77.6%と最も高く、次いで一戸建が 18.8%、長屋建が 3.4%となっている
- ・ 構造についてみると、鉄筋・鉄骨コンクリート造の共同住宅が空き家全体の 65.1%を占める等、非木造の共同住宅が過半を占めている。



図表－ 173 空き家の建て方、構造

- ・ 空き家の建て方、種類別の戸数についてみると、賃貸用の住宅及び売却用の住宅では共同住宅の割合が大きいのにに対して、その他の住宅では一戸建の割合が大きくなっている。



図表-174 空き家の建て方、種類別戸数

## ② 立地環境

- ・ 空き家の敷地が接している道路の状況を見ると、「敷地が道路に接していない」「幅員2m未満」「2～4m未満」の合計が33.7%であり、神戸市合計（26.5%）と比較して接道の状況はやや悪いといえる。

	敷地が道路に接していない	幅員2m未満	2～4m未満	4～6m未満	6～10m未満	10m以上	総数
住宅総数	9,500	34,300	150,000	256,900	164,000	115,900	730,600
(%)	1.3%	4.7%	20.5%	35.2%	22.4%	15.9%	100.0%
空家	3,500	8,200	28,200	36,000	24,400	18,200	118,400
(%)	3.0%	6.9%	23.8%	30.4%	20.6%	15.4%	100.0%